

長野市復興だより ワン・ハート

ONE  HEART

歌でつなぐ 忘れない“あの日”の災害を。

篠ノ井地区で市民活動を行うグループ「信州なでしこ隊」の柳原静子さんは、令和元年東日本台風災害を忘れない、そして語り継いでいこうと、朗読劇「忘れない あの日 あの時」を創作しました。シナリオは、地区内で浸水被害にあった人たちが“あの日”の恐怖と不安、避難所での経験、絶望と希望、そしてボランティアへの感謝など、それぞれの想いを綴ったもの。篠ノ井地区住民自治協議会が撮影した災害の写真をスクリーンに投影しながら、信州なでしこ隊と、地域活性化男性グループ「寺小屋ダンディ」のメンバーがリレー形式で朗読するスタイルで、2020年6月以来、地区内の小中学校や福祉施設、ときには他地域にも出かけ、発表を続けてきました。

きっかけは、「前へ向かってがんばっている人もいれば、すっかりへこんでしまって、うつ病になってしまったり、そういう人たちを応援するために、何か形にできれば」という柳原さんの想いが込められています。災害が起きた2019年10月末に心臓の手術で入院することになった柳原さんは、それまでに見聞きた被害の様子や、いろいろな人たちの体験談を集め、入院中に原稿を書き溜めました。しかし、ようやく台本が完成し、いざやろうと思った時には、コロナ禍と

篠ノ井地区 信州なでしこ隊・寺小屋ダンディ

なり、思うような活動ができなかったと振り返ります。また、自粛期間中には、自ら作った詩「忘れない あの日 あの時」に曲を付けようと、知り合いの音楽の先生に作曲を依頼。朗読劇の挿入歌として、皆で歌える歌が完成しました。メンバーのほとんどが70歳以上のシニアで構成される信州なでしこ隊と寺小屋ダンディ。“この年になると勉強する機会ってなかなかないけれど、この活動を通して皆で意見を出し合ったり、発表したり、何より皆さんが楽しみながらやっているのが、本当にうれしい”と語る柳原さん。歌の最後はこう締めくくられています。

♪ 忘れない 忘れない 助けられたこの命
ありがとう ありがとう
応援してくれる みんなに感謝
これからの道 心折らずに
進もう 進む 進むんだ
みんなの思い
力にして

[INFORMATION]

信州なでしこ隊

長野市篠ノ井御幣川281-1
(篠ノ井地区住民自治協議会)
TEL.026-285-0228

被災者の皆さまへ

①住宅の復旧に向けた現地調査や技術的アドバイスを継続して行っています

建築・住宅に関する様々なご相談に対して、
建築士等の専門家による現地調査や電話などによる技術的アドバイスを随時行います。
また、相談内容に応じて専門機関の紹介をします。まずは、お電話でご相談ください。

相談窓口	長野県建築相談連絡会(事務局:(公社)長野県建築士会) TEL:026-235-0561 http://www.nagano-kenchikushikai.org/soudan/
ご利用時間	10時～16時(土・日曜日、祝休日を除く)
お問い合わせ先	長野県建築相談連絡会(事務局:(公社)長野県建築士会) TEL:026-235-0561 建築指導課 TEL:026-224-5048

②【一部延長します】融資を受けて住宅再建を行う方への補助制度のお知らせ

長野県では、災害により住宅に被害を受けた方が、住宅を再建するため住宅金融支援機構や民間金融機関から受ける融資に対し、その利子相当額の一部を補助していますが、**令和元年東日本台風災害により被災した一部の方について、補助対象融資に係る期限を延長しました。**

対象となる方	自己所有する住宅が被災し、住宅の建設・購入・補修に際して金融機関からの融資を受ける方のうち 世帯主または世帯主と同居する方					
補助額	右記の利子相当額を一括で補助します。(限度額あり)	<table border="1"> <tr> <td>建設・購入</td> <td>20年借入を想定した場合の当初10年分</td> </tr> <tr> <td>補修</td> <td>10年借入を想定した場合の当初5年分</td> </tr> </table>	建設・購入	20年借入を想定した場合の当初10年分	補修	10年借入を想定した場合の当初5年分
建設・購入	20年借入を想定した場合の当初10年分					
補修	10年借入を想定した場合の当初5年分					
申請期限	金銭消費貸借契約の「契約日の属する年度の3月31日」 又は「契約日から半年」のいずれか遅い日まで					
対象融資	住宅金融支援機構の融資:令和4年11月30日※までに申込みを行った災害復興住宅融資 民間金融機関の融資:令和4年11月30日※までに貸付けを受けた融資 <small>※延長前…令和3年10月12日</small>					
お問い合わせ先	長野県建設部建築住宅課(TEL:026-235-7339)					

詳細は県ホームページ(「長野県 災害復興住宅」で検索)で確認ください。

③被災地区農地対策について

①農地流動化助成金被災農地加算

現行の助成金単価に2千円/10aを加算します

令和元年東日本台風の浸水エリア内の借り手がない農地(青地)の荒廃化を防ぐため、農地の賃貸借を促し、担い手(人・農地プランの中心経営体、認定農業者、認定新規就農者)の農地を集約する取組を支援します。

②被災地区荒廃農地利活用補助金

優良農地への復元:補助率1/2以内又は10万円/10aのうち低い額
作物導入等:補助率1/2以内又は2万円/10aのうち低い額

被災地区(長沼、豊野、古里、篠ノ井、松代、若穂。ただし信里、西条、豊栄、保科は除く。)の荒廃農地(青地)を優良農地に復元する取組を支援します。

お問い合わせ先

農業政策課(TEL:026-224-5037)

④ 住宅金融支援機構からのお知らせ

令和元年東日本台風の災害復興住宅融資の受付期限は **令和4年11月30日まで** となっています。

ご相談は、お客さまコールセンター（災害専用ダイヤル）0120-086-353（通話無料）へ

※災害復興住宅融資の受付期限は、原則として、り災日から2年間ですが、被災者生活再建支援金（加算支援金）の申請期限の延長等により、延長する場合があります。

⑤ 企画展「地域の宝を救え！今も続くレスキュー活動～陸前高田、そして、長野～」

令和元年東日本台風により長野市は大きな被害を受けました。

長野市立博物館では、ボランティアを中心に、この台風で被災した文化財の保全作業を行っています。

この文化財の保全活動とこの活動の中でわかってきた地域の歴史について紹介します。

また、東日本大震災から10年経った今でも、被災資料の保全活動は続けられています。

東北での保全作業や救出された資料についても紹介します。詳細は博物館ホームページをご覧ください。



被災資料の保全作業の様子

展示期間	令和4年1月15日(土)～3月13日(日)
開館時間	午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで) ※祝休日の翌日(土・日曜日、祝休日と重なる場合はその翌日)
お問い合わせ先	市立博物館 TEL:026-284-9011



地域の皆さんをつなぐ地域公民館 ～復旧・再開情報～

地域の交流・活動拠点となる地域公民館。令和元年東日本台風により被災地区の一部公民館では、床上浸水の被害を受けてしまいましたが、長野市地域公民館災害復旧支援金などにより令和2年度中に復旧工事が完了しました。地域に関係する多くの皆さんが利用される地域公民館の復旧状況を順番にお伝えします。

赤沼上組集会所(長沼地区)



赤沼区長
山崎 里司さん

コロナ終息後には、
住民の集会・獅子舞
等で利用します。

復旧前



復旧後



南町組集会所(豊野地区)



豊野区長
善財 孝文さん

被害が大きな地区で
したが、被災者が戻り、
地区が元気になる
よう願っています。

復旧前



復旧後



16



地域の農家とお客様をつなぐ直売所

国道18号(通称アップルライン)沿いの農産物直売所「アグリながぬま」は、JAながのが展開する9つの直売所で最大規模の直売所。令和元年東日本台風の被災、コロナ禍での営業再開を経て、2021年11月に開店20周年を迎えました。これまでの取り組みと今後の課題について、所長の田中さんに伺いました。

農産物直売所
アグリながぬま 所長
田中浩介 さん

仮設店舗営業と復旧作業を並走

令和元年東日本台風では床上1.3mまで浸水し、商品・什器・機材など施設内の全てのものを失いました。当時はちょうど贈答用りんごのご案内準備の時期でお客様への状況説明にも追われました。データ登録のあるお客様全てにダイレクトメールを送り、管内の共撰所、直売所と連携して対処しました。被災していない農家さんもたくさんいらっしゃったので、その方たちの出荷先として、長野市富竹のJAファームながの中部店の一角をお借りし、11月9日から仮設営業を再開しました。一方で、所属していた10数名の職員は連日で店舗の片付け、清掃作業を行い、翌年1月頃までかかりました。また、駐車場は信州農業再生復興ボランティアプロジェクト(農ボラ)の受付会場となり、連日大勢のボランティアの方に駆け付けていただき、被災したりんご畑の片付け作業などを行っていただきました。



被災直後は、農ボラの受付会場となった

コロナ禍での再出発



広々として品揃え豊富な売り場

2020年4月に復旧工事が終わり、施設の引き渡しとなりました。施設はできたものの、中身が空っぽの状態で、事務所の備品など、何を揃えれば被災前の状況に戻せるのか、ひとつひとつ思い出しながら書き出し、揃えていく過程は、想像以上に大変でした。店舗は以前店舗内にあったりんごジュースの加工所を外に出すことで、売り場を広くし、より多くの商品を扱えるようにしました。その後、4月29日に営業を再開。地域の方をはじめ、多くのお客様からおめでとうと声をかけていただき、中には、農ボラで手伝いに来て、その後を見に来られたという方もいました。しかし、緊急事態宣言が発出する状況で、こんな時期に開店するのはどうなのか、という厳しい意見も寄せられました。本当なら大勢の方に来ていただきたいところでしたが、感染対策のため、来店人数の制限を呼びかけなくてはならず、複雑な思いを抱えながらの再出発となりました。

20周年の感謝を込めて

2001年の開店から20年の節目を迎えた11月3日に、感謝祭を行いました。オープニングセレモニーでは地元有志による獅子舞の披露、午後は長沼こまち太鼓の演奏など、コロナ対策を行った上で賑やかに開催することができました。延べ1,000人ほどのお客様に御来店いただき、キッチンカーやガラポン抽選会も好評でした。コロナ禍で試食や振る舞いサービスが全くできていないのが現状ですが、最近はお客様との接点をできるだけ増やせるように、公式LINEでの情報発信やプレゼントキャンペーンなどにも取り組んでいます。また、11月13日には荻原市長に地元産りんごの販売をお手伝いいただきました。厳しい状況ではありますが、今後もスタッフ一同、お客様に喜んでいただけるようなお店づくりに励んでいきたいと思っております。



20周年感謝祭の様子

農産物直売所「アグリながぬま」

長野市穂保274-1
TEL: 026-295-1093
営業時間: 9:00~17:00



長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART

Issue 15 令和3年12月 【発行】長野市企画政策部復興局復興推進課
電話: 026-224-9728 e-mail: fukko@city.nagano.lg.jp
詳しい情報、市からのお知らせは、右記のURLからご確認願います。URL: <https://www.city.nagano.nagano.jp/>



古紙配合率70%以上の再生紙を使用しています